

**第1回 道内大学生による  
「ものづくり製品化&起業化支援事業」**

**募集要項**

**募集締切：平成30年9月28日(金)**

**< 主 催 >**

**北海道経済連合会**

**札幌商工会議所**

**公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター**

**北海道ニュービジネス協議会**

## <事業概要>

### 1. 主 催

北海道経済連合会・札幌商工会議所・公益財団法人北海道科学技術総合振興センター・  
北海道ニュービジネス協議会

### 2. 事業の目的

地元経済団体の会員企業・金融機関等が、道内大学生考案のビジネスアイデアの実現を支援することで、「理系・技術系大学生の本道定着」「ものづくり産業の振興」「北海道経済の活性化」に寄与することを目的として実施します。

### 3. 事業の概要

北海道内の大学で学ぶ学生（複数人数によるグループ）が考案した“ものづくり分野”における「製品化アイデア」「起業アイデア」を、主催団体の会員企業・金融機関等が実現に向けて支援する事業です。

学生グループは、企業・金融機関等が多数参加する中で、自ら考案したアイデアのプレゼンテーションを行い、企業・金融機関等は、実現性や社会的需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに対し、支援に向けた面談を申し込みます。

学生グループは、面談を申し込んだ企業・金融機関等と面談するか否かを判断し、了承の場合、主催事務局が面談を設定します。企業や金融機関等との交渉により、下記のような支援が受けられる可能性があります。

企業支援の例 : ①プランの購入  
②学生グループを採用  
③工場・機器の使用許可、材料提供  
④資金提供  
⑤その他

金融機関支援の例 : ①学生プランを実現する企業への支援  
・各種融資制度  
・基金（中小企業の新技術・新製品の研究開発に対し助成）  
・販路開拓支援  
②学生グループに対する創業支援  
・創業融資  
・創業、新事業等成長企業を支援するファンドなど  
・創業計画策定支援、資金調達に関する相談対応など  
・販路開拓支援  
③経営人材派遣等の人材支援に関するサポート  
④その他

## <応募要領>

### 1. 募集期間

平成30年7月2日（月）～平成30年9月28日（金）

### 2. 対象分野

ものづくり分野の大学生発案「製品化アイデア」又は「起業アイデア」

※「製品開発」、「技術開発」、「素材開発」、「システム開発」など

※「健康・医療」、「保健機能食品」を含みます

※「一般食品」、「建築・土木」は対象外

#### <学生グループの研究例 >

応用物理、物理化学、生化学、量子力学、材料科学、航空宇宙工学、機械工学、人間工学、電気工学、電子工学、通信工学、情報工学、農学、生物工学、環境科学、エネルギー環境システム、食品加工技術（システム）、食品流通技術（システム）等

#### <企業側が求める課題解決(例) >

製品化・起業化アイデアの募集にあたり、企業に「こういうものを考えて欲しい」「このような製品・素材・技術・システムがあれば・・・」というテーマ・キーワードをアンケート調査しました。結果を例示しますので、考案のヒントとしてご活用下さい。

※下記テーマにとらわれる必要はありません。自由なアイデアを募集します。

- ①加工機と加工者の生産時間の自動集計システム（QRコード）
- ②人口減少に対応した労働力を補う仕組み（AI・ロボットの活用）
- ③外国人労働者の受入を想定したコミュニケーションツールの開発
- ④強い雨で白線や指示標識が見えなくなってしまうゲリラ豪雨時の道路標識対策
- ⑤冬季悪天候時の輸送・運搬システム（システムにより代替ルートを作成、変更等指示）
- ⑥道路などに凍結対策を行っているところもあるが、安価で後施工できる方法など
- ⑦屋根に雪が積もらない塗料、または屋根の雪を滑らせる素材等の開発
- ⑧豪雪地帯でも使用可能な脱気筒の開発（積雪時の強風で垂直方向以外に横方向からも力が加わり、脱気筒が折れてしまう）
- ⑨雨が降った翌日でも施工可能なモルタル面・コンクリート面を速乾できる材料の開発
- ⑩低騒音ディスクサンダー（ディスクサンダーとダイヤモンドカッターの開発）
- ⑪ナノサイズの超微粒子粘着剤を活用した空気の抜けにくい自転車
- ⑫スマートフォンを活用した非破壊検査アプリ（膜厚計や距離計）
- ⑬日本古来の植物素材（うるし・樹木の樹液）成分を活用した新しい防水機能を持った素材開発
- ⑭特殊顔料の活用（例）プルシアンブルーを活用して多様な形態のセシウム吸着材を開発
- ⑮トーチ工法用バーナーの開発とトーチ工法の溶解性の確立（脱ガスバーナー化と“あぶり”で表層のミネラルが変色するなど溶解確認の見える化）
- ⑯塩ビシート防水の溶着確認（十分な溶着ができると表装が変色するなど作業の見える化）
- ⑰海に近い砂漠で、太陽光発電システムと淡水システムを活用し砂漠を畑に改良
- ⑱発展途上国における人の死因は蚊を媒体としたものが多いと言われる為、建物建設時に使用する防水剤に蚊の嫌がる成分を混ぜ込むなどの防虫・嫌虫対策。

### 3. 応募資格

北海道内の大学に在籍する学生グループ ※複数名であること（1名は不可）  
初めて実施する今回は、以下の6大学を対象とします。

- ①北海道大学
- ②室蘭工業大学
- ③北海道科学大学
- ④北海学園大学
- ⑤千歳科学技術大学
- ⑥酪農学園大学

### 4. 募集コース

- ①事業化支援コース（製品化アイデアのみ）
- ②起業化支援コース（製品化アイデア+創業プラン）

### 5. 応募方法

エントリーシート（応募用紙）に「応募コース」、「製品化アイデアの名称・ポイント」、起業化支援コースに限っては「創業プランのポイント」を簡潔に記載し、**締切【9月28日（金）】**までに「メールまたはFAX」でご応募下さい。

※応募作業はこれで完了です。

### 6. 受付確認

主催事務局は、エントリーシートを受け取った後、プレゼンテーションに向けた専門家アドバイス等を記載した「受付確認書」を応募の代表者に返送します。

### 7. エントリーシートの提出先

札幌商工会議所 産業部 地域振興・ものづくり課（担当：伴、山形）  
〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター  
TEL：011-231-1373 FAX：011-231-1078 E-mail：tiiki@sapporo-cci.or.jp

## ＜プレゼンテーション要領＞

### （１）事業化支援コース

#### ＜プレゼンテーション概要＞

対 象：企業・金融機関

日 時：平成30年11月頃を予定（札幌市内）

内 容：ご応募いただいた「製品化アイデア」のプレゼンを行って頂きます。

※発表時間は10分以内

#### ＜プレゼンテーションから面談までの流れ＞

プレゼンテーションの実施後…

##### ①企業・金融機関からの面談申込み（支援の申込み）

企業・金融機関は、実現性や社会的需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに支援を申し出ます。 ※支援の申し出が無い場合があります

##### ②面談実施の可否判断

学生グループは、支援を申し出た企業と「面談する・しない」を選択します。面談する場合は、主催事務局が面談を設定します。

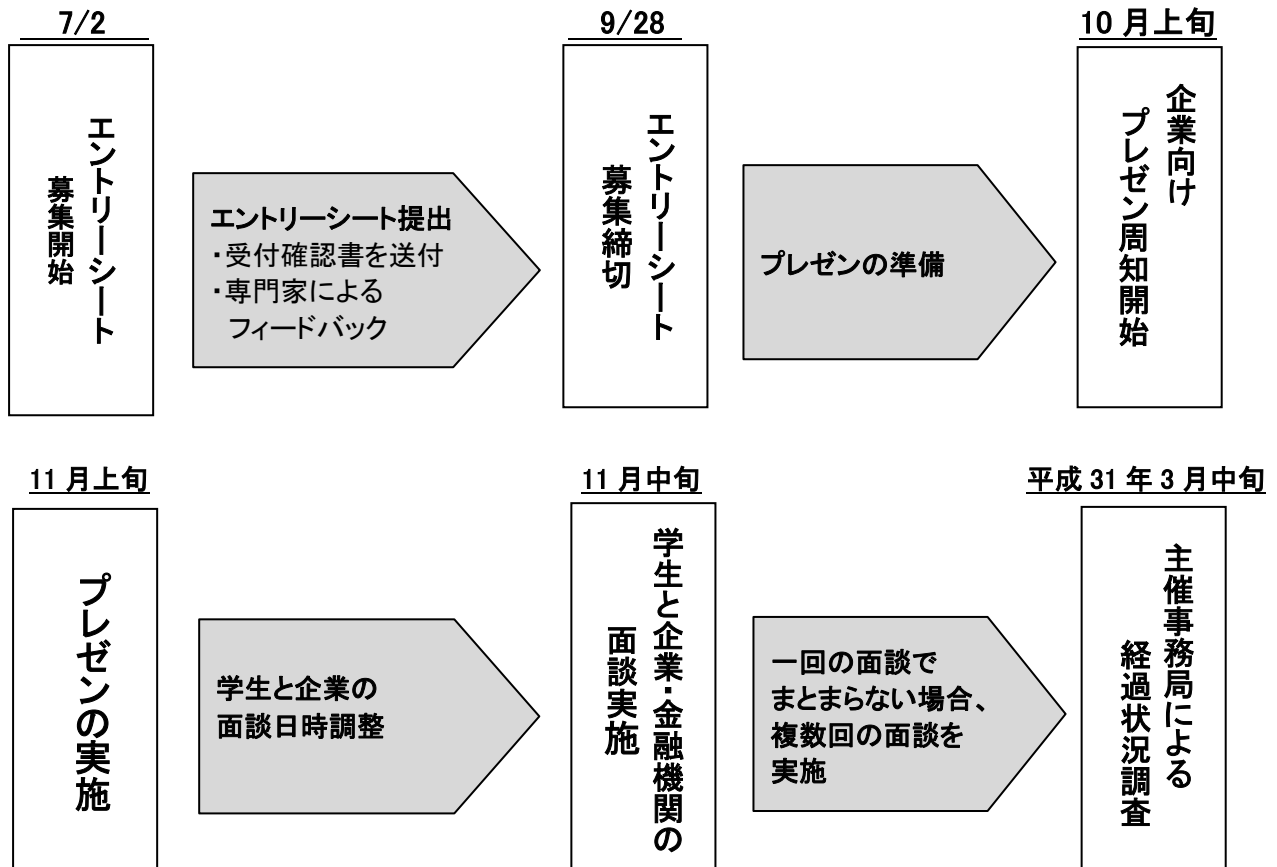
##### ③主催事務局による面談調整

主催事務局は、学生グループと企業（金融機関）の面談をセッティングします。

##### ④支援内容の交渉

面談では支援内容の交渉・確認を行って頂きます。面談が複数回に亘る場合や、交渉が成立しないことも考えられます。公平性を期すため、主催事務局は面談の状況・結果を把握します。

##### ⑤支援交渉の合意・不合意



## (2) 起業化支援コース

### <プレゼンテーション概要>

対 象：企業・金融機関

日 時：平成31年2月頃を予定（札幌市内）

概 要：ご応募いただいた「製品化アイディア」と起業を想定した「経営計画」のプレゼンを行って頂きます。

※起業化支援コースの発表時間は12分以内

### <プレゼンテーションから面談までの流れ>

#### ①創業・経営研修の受講

起業化支援コースを選択した学生グループは、製品化アイディアのほか、実際の起業を想定した「経営計画書」を発表して頂くこととなるので、プレゼンを実施する前に会社設立・経営について学ぶ「創業・経営研修」を受講して頂きます。  
※受講方法は応募者の地域性を鑑みエントリーシート受付後、個別にご連絡します。

#### ②経営計画書の作成

会社設立を想定し、創業資金借入時に必要な「経営計画書」を作成して頂きます。プレゼンでは「製品化アイディア」と「経営計画」を発表して頂きます。

プレゼンテーションの実施後…

#### ③企業・金融機関からの面談申込み（支援の申込み）

企業・金融機関等は、実現性や社会的需要が高いと見込まれるアイディアを発表した学生グループに支援を申し出ます。 ※支援の申し出が無い場合があります

#### ④面談実施の可否判断

学生グループは、支援を申し出た企業と「面談する・しない」を選択します。面談する場合は、主催事務局が面談を設定します。

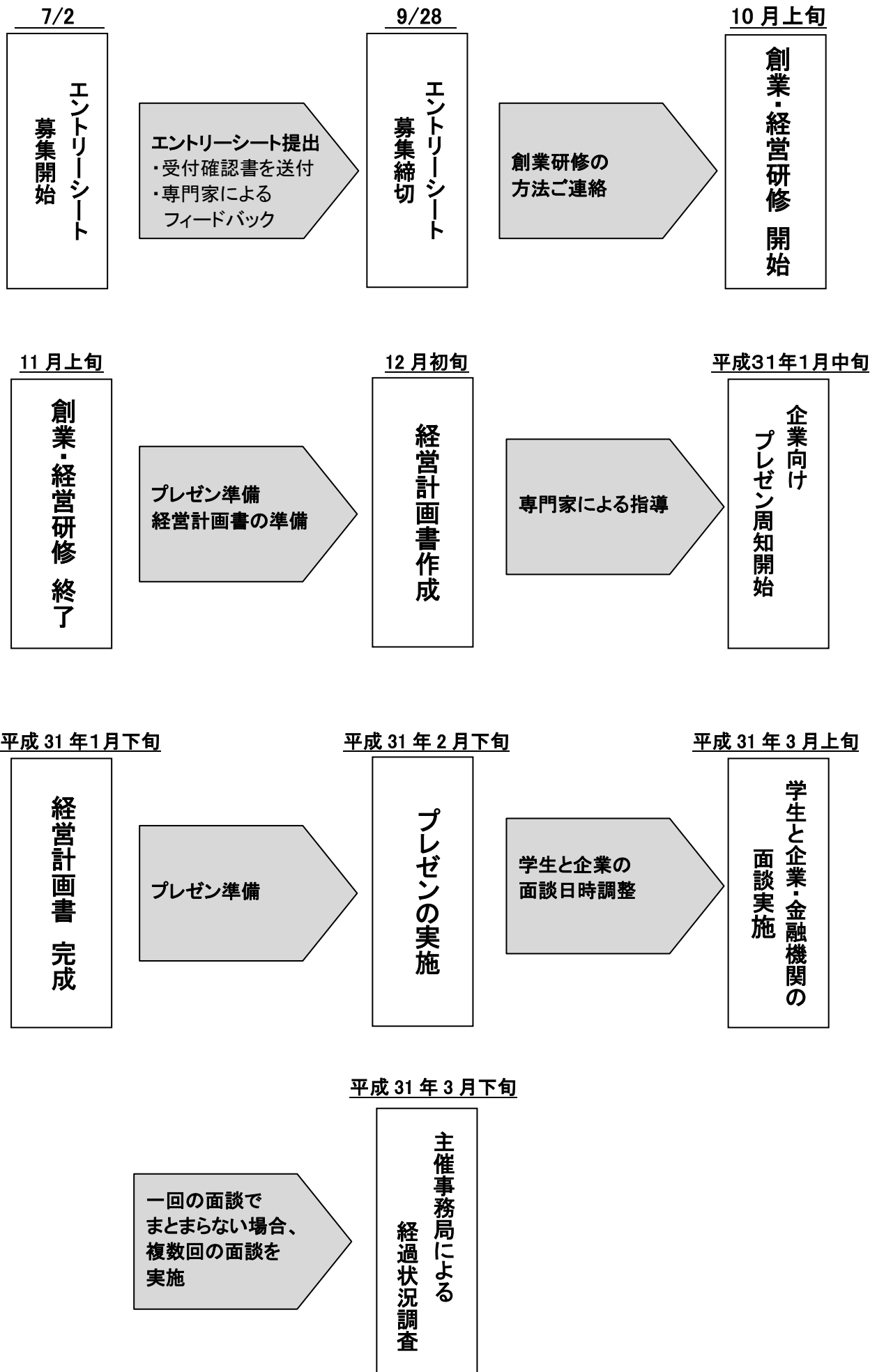
#### ⑤主催事務局による面談調整

主催事務局は、学生グループと企業（金融機関）の面談をセッティングします。

#### ⑥支援内容の交渉

面談では、支援内容の交渉・確認を行って頂きます。面談が複数回に亘る場合や、交渉が成立しないことも考えられます。公平性を期すため、主催事務局は面談の状況・結果を把握します。

#### ⑦支援交渉の合意・不合意



## 第1回 道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」

### < 目 的 >

地元経済団体の会員企業・金融機関等が、道内大学生考案のビジネスアイデアの実現を支援することで、理系・技術系大学生の本道定着とものづくり産業の振興、加えて、北海道経済の活性化に寄与することを目的として実施する。

### < 概 要 >

北海道内の大学で学ぶ学生（複数人数によるグループ）が考案した“ものづくり分野”における「製品化アイデア」「起業アイデア」を、主催団体の会員企業・金融機関等が実現に向けて支援する事業。

学生グループは、企業・金融機関等が多数参加する中で、自ら考案したアイデアのプレゼンテーションを行う。

企業・金融機関等は、実現性や社会的需要が高いと見込まれるアイデアを発表した学生グループに対し、支援に向けた面談を申し込む。

学生グループは、面談を申し込んだ企業・金融機関等と面談するか否かを判断し、了承の場合、主催事務局が面談を設定する。

支援交渉の公平性を期すため、主催事務局は交渉状況・結果を把握する。

“ものづくり分野”の例：製品開発、技術開発、素材開発、システム開発 など

※「健康・医療」、「保健機能食品」を含みます

※「一般食品」、「建築・土木」は対象外

学生グループの研究例：応用物理、物理化学、生化学、量子力学、材料科学、航空宇宙工学、機械工学、人間工学、電気工学、電子工学、通信工学、情報工学、農学、生物工学、環境科学、エネルギー環境システム、食品加工技術（システム）、食品流通技術（システム）等

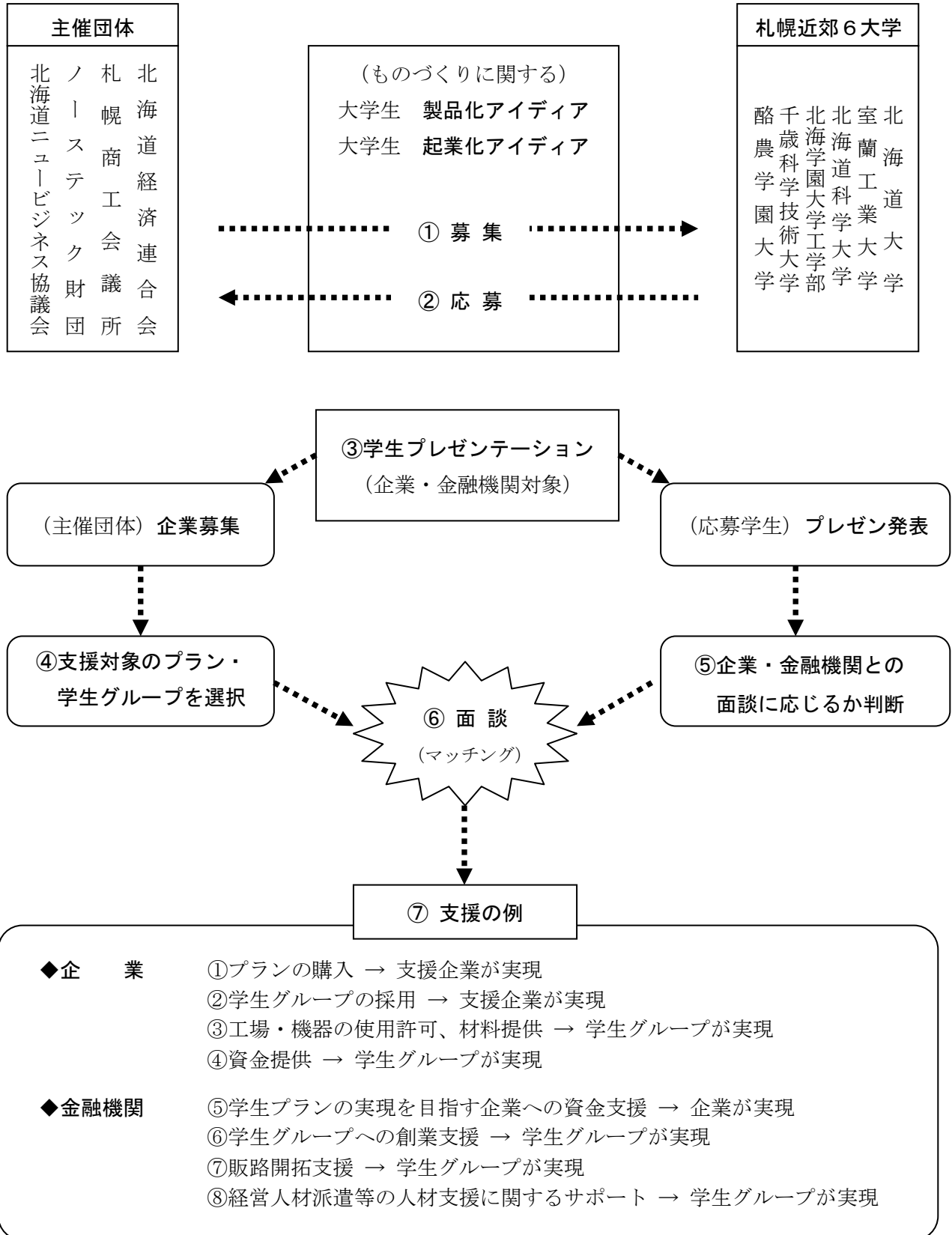
企業支援の例：①プランの購入 → 企業が実現  
②学生グループを採用 → 企業が実現  
③工場・機器の使用許可、材料提供 → 学生が実現  
④資金提供 → 学生が実現  
⑤その他

金融機関支援の例：⑥学生プランを実現する企業への資金支援 → 企業が実現  
⑦創業資金支援 → 学生が実現  
⑧創業資金支援 + 経営人材派遣等の人材支援 → 学生が実現  
⑨その他



## 道内大学生による「ものづくり製品化&起業化支援事業」

### <事業の構図>





### 3. 応募内容

応募コース ※A・Bどちらか選択	
<input type="checkbox"/> A. 事業化支援コース	<input type="checkbox"/> B. 起業化支援コース
製品化アイデア・起業アイデアの「名称」 ※プランのタイトル	

### 4. アイディアの内容

①アイデアのテーマ・コンセプト
②アイデアの内容・課題 ※アピールポイント または 製品化までの課題など
③創業イメージ ※起業化支援コースのみ ご記入願います (いつ頃、どこで、何人で創業し、どのような人たちを相手に事業を展開するのか 等)